

## 答申書案に対する意見

頁	該当箇所	意見内容	対応
8 18	第1章 大きな時代背景と社会環境の変化 3 意識・価値観の変化 第6章 求める都市像 1 将来の都市像	8頁 「社会への参画・貢献意識の高まり」の5行目 18頁 2行目 「行政と市民や団体、高等教育機関など」 「行政や市民や団体、高等教育機関など」とする。 「と」とすると、行政とその他が対立軸にあるイメージになるで、「や」として、行政も同格として、それぞれが協働するイメージにした方が良いのではないか。	
20	第6章 求める都市像 2 分野別目標 「産業振興分野の目標」	分科会での検討結果は原案どおりであるが、他の分野の目標の表現と比較すると、「 <b>農水商工が連携した地域ブランドの創出により</b> 」という手法、手段を目標に含めているのはこの分野だけで、バランスからして適当ではないので、この部分を削り、「 <b>農水商工が連携した地域ブランドの創出により、一人も宇部もいきいきとした、にぎわいと魅力あふれるまち</b> 」とする。	
23 31	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略	「(4)成果目標」 現在掲載されている成果指標を選択した理由を、再度説明願いたい。	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(2)目指すべきまちの姿」 「学園都市」の内容を加味し、1項目と2項目が修正されているが、「学園都市」を3項目として追加し、1項目と2項目は従来の内容を生かした方がよい。  1項目：「 <b>高齢者や障害者も</b> 」を削り、「市街地や各地域拠点においてコンパクトな生活環境が形成され、 <b>高齢者や障害者も、誰もが安心してまちを歩いています。</b> 」とする。  2項目： <b>前回の2項目を「中心市街地」「まち」に改めて、残し</b> 、「高齢者や障害者も安心して暮らすことができ、若者が集う魅力的な <b>まち</b> が形成されています。」とする。  3項目：2項目を3項目として、「 <b>学生など若者が住みやすく」「学生も住みやすく</b> 」に改め、「 <b>学生など若者がも</b> 住みやすく、学園都市にふさわしいまちが形成されています。」とする。	
24	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「安心」	「(3)取組内容」 「利便性」は量的整備と感じられる。適切な言葉が見つからないが、質的整備とはソフト面だと解釈している。市民一人ひとりの生きがい感や自己実現、「自分らしく生きる」ことが実現できる社会を望む。 「 <b>安全性や利便性を高めるような質的整備</b> 」 「 <b>安心感や満足感を高めるような質的整備</b> 」に改める。	
30	第7章 まちづくりのために 2 まちづくり戦略 「地域ブランド」	「(3)取組内容」 「地球環境検定の全国展開に向けた支援」となっているが、宇部から全国展開への支援をするのか。また、個人の受験に対して支援をするのか。ここの文言が今一しっかりとこない。	
32	第8章 構想を推進するために	3行目 この章は行政経営に対する方針を記述するところなので、行政経営と協働取組が並列記載されていることに違和感がある。 「 <b>すべての施策に共通する協働による取組</b> 」を削り、「それらの取組を支える基礎的な基盤としての行政経営のあり方 <b>やすべての施策に共通する「協働」による取組などについて</b> 」とする。	
32	第8章 構想を推進するために	「2 効率的・効果的な行政経営」2行目 「 <b>増収対策をはじめとした市財政の健全化</b> 」については、基本構想の内容として違和感があるので削り、「 <b>事務事業の見直しや限られた財源と人員の効果的配分、増収対策をはじめとした市財政の健全化、組織横断的な施策への取組など、質の高い行政経営に努めます。</b> 」とする。	